

地元の区議会議員 25年10月号 76号

# とりがい秀夫の地域ニュース

南千住8-3-3-201 電話090(1201)1297

携帯メール torigaihideo@ezweb.ne.jp



## セメントサイロ跡地活用始動 商業系か産業系か 26年度決定

9月から始まった区議会決算委員会において、私は区長はじめ理事者にセメントサイロ跡地解体後の活用策について質問を致した所、次のようなスケジュールが浮かび上がってきました。面積は15,000平米ありますが活用するのはそのうちの半分の8,500平米位となる予定です。【残りは貨物ヤードの整備として活用するため】又、セメントサイロは4基ありますが、その撤去費用は1基1億円以上となっています。

### 協議会委員に就任予定

今後のスケジュールは右のような流れになりますが、基本的には住宅系は建設しないということが決まっていますので、商業系なのか産業系なのかそれらを組み入れるのかによって、南千住だけでなく将来の荒川区全体の経済活動にも影響が出てきます。

私も協議会に入り、提案を  
してまいります



平成25年10月に区とJR貨物  
開発部が基本合意書変更締結

協議会発足どのようなメンバ  
が入るのか？区議会議員4名が  
入るので鳥飼も希望している

施設の概要が決定すると公募を  
行います。公募に応じた事業者が  
決定。事業者と協議を行い、施設  
の建設を行います。

平成26年6月頃。  
事業者決定

# 荒川区議会通年議会導入・23区初 NHK他マスコミも大きく報道

荒川区は来年・26年度から23区初となる通年議会を導入することを10月8日の区議会最終日に議決しました。現在、東京22区始め多くの地方議会は通年議会制度を導入していません。つまり、区長や市長が年4回の議会を招集し、議会が開会されています。



## 議会運営委員会理事会で策定中

現在、私が委員長の議会運営委員会で荒川区が導入する「通年議会」の最終的な仕組みを策定しています。既に行われている議会では毎年1月から始まり12月に終わる議会と、4月から始まり3月に終わる議会があります。通年議会が始まると区長が最初に招集しますが、その他はすべて議長が招集することになり、議会の権能が強くなる半面、責任も重くなります。

### 26年度保育園 申込の概要

南千住地区認可・11園、  
認証4園 受け入れ枠  
0歳児 190人位  
1歳児 281人位  
受付は12月2日～10日・  
配布は11月21日から

### 日光道中歩き後半

宇都宮宿～徳次郎宿まで歩きませんか！杉並木街道も近くなりました。84歳の方も毎回歩いています。是非、お待ちいたします。

**日時 11月17日【日】朝8時5分**

メトロ南千住改札口

交通費 2,000円位

帰宅 4時頃 雨天 中止

会費 交通費のみ

# 常磐線日暮里ホーム拡幅工事終了 17 時間で線路の移設も同時に完成



工事前のホーム



工事前の線路上から撮影

9月号で掲載した、常磐線日暮里駅の改修工事が20日夕方に終了し利用できることになりました。朝夕のラッシュ時におけるホームの混雑は大変厳しい状況にありましたが、改修・拡幅により利用者にとっては従前より2メートルのゆとりが出来たので、利用者は安心感が出来るのではないのでしょうか。今回幸いなことに、京成日暮里駅が大幅に駅舎改善事業を行い、1路線の余裕が生まれたのでその廃止線路を活用することになりましたが、改めて土木技術の進化には目をみはるものがあります。

## 汐入地区を区の観光スポットに！ 「芸大夕日見まつり」実施

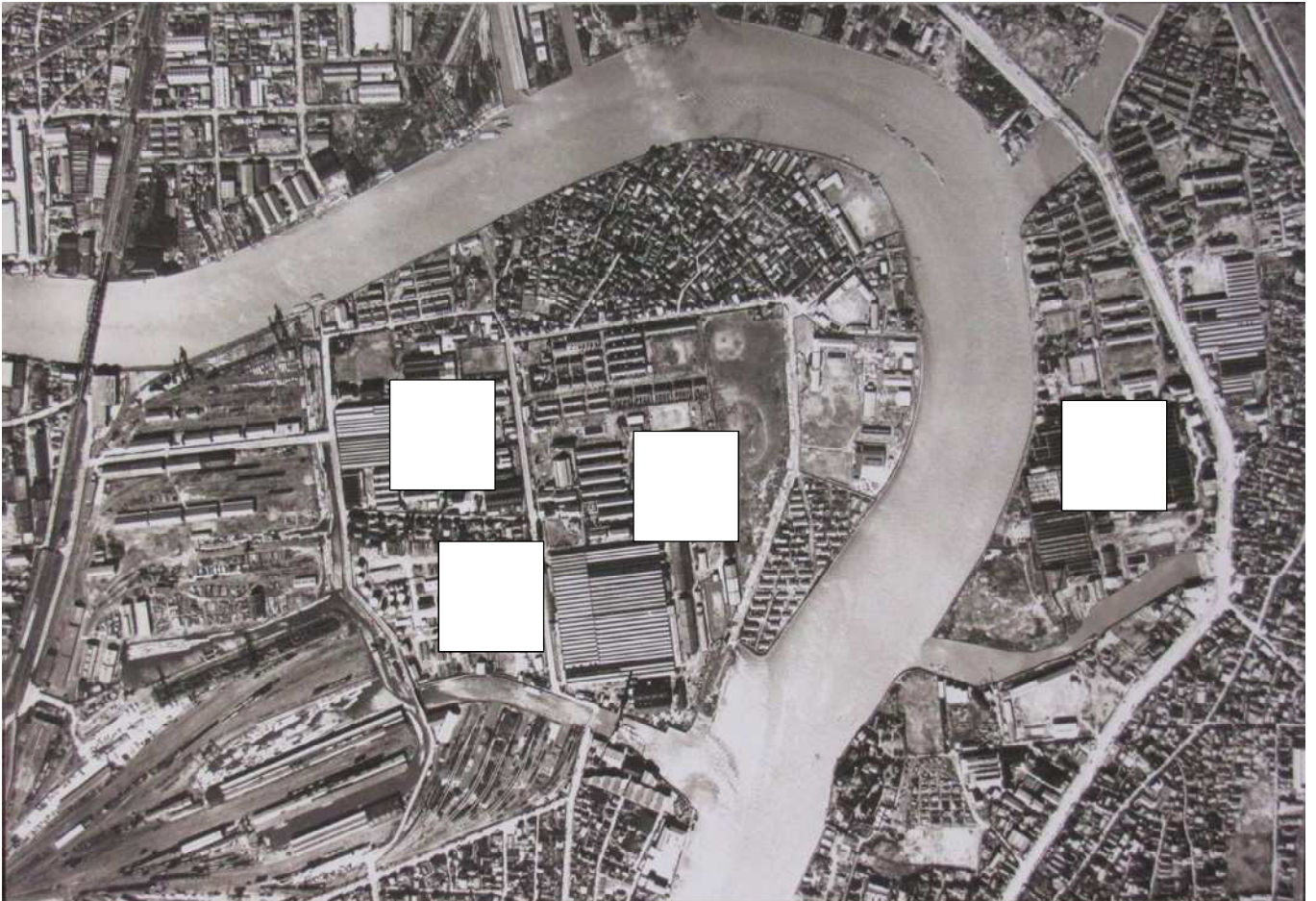
今年も10月14日、祝日に汐入公園で東京芸術大学が行う「夕日見まつりIN汐入」が開催され多くの区民が集いました。昨年の芸術作品は昨年終了時点で解体されましたので、ロボットを含め新たな物が8基、大型トレーラーで運ばれました。この事業は東京都から15,000,000円補助されています。来年も実施するとの事です。




風神、雷神とコンドルの神輿

# 日本の近代化を進めた隅田川の工業群




## 鐘ヶ淵紡績工場本社と汐入工場群の歴史



南千住が近代医学発祥の地なら南千住を中心に墨田区・足立区・北区など、隅田川沿岸に発達してきた工場群は近代日本の産業を支え、進めてきた地域ではないでしょうか。

明治12年に南千住6丁目に千住製絨所が設立、20年には汐入の対岸「千住汐入大橋」と「水神大橋」の間に鐘ヶ淵紡績工場（現、カネボウ）、汐入では東京毛織物会社



【後に鐘ヶ淵紡績と合併】、東京紡績隅田工場【後に大日本紡績汐入工場】【現ユニチカ】、明治21年には日本石油油槽所、 等が相次いで設立します。